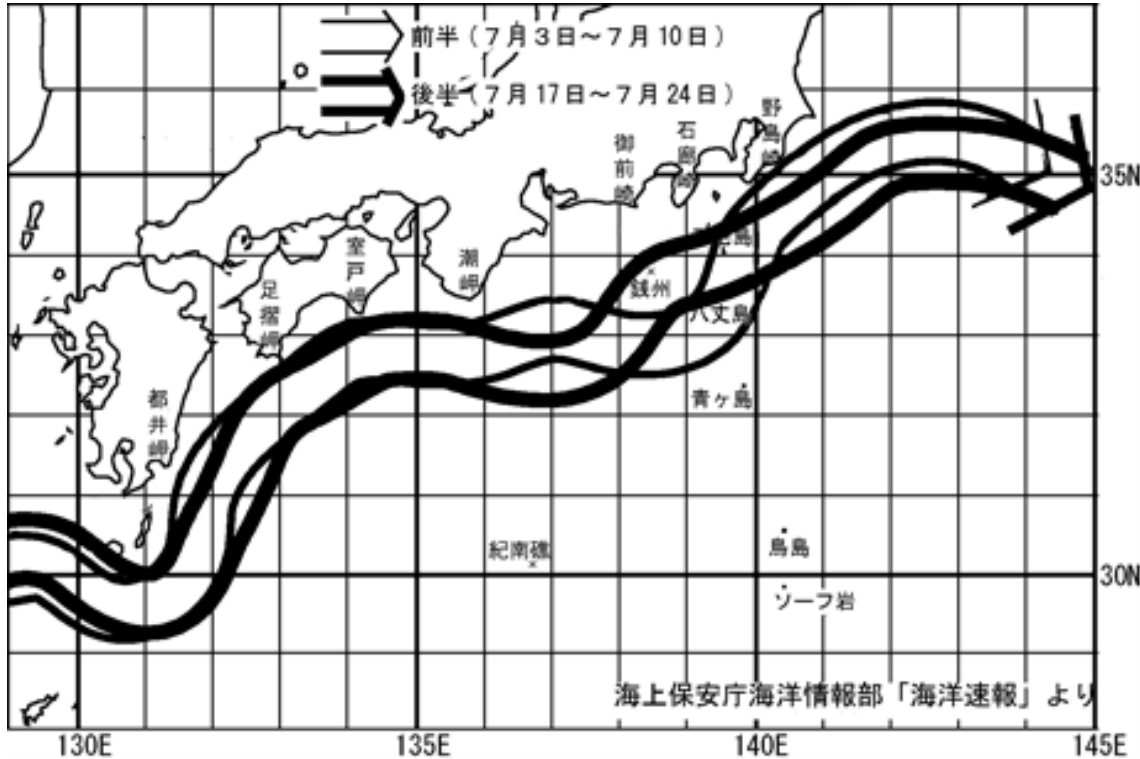


漁海況月報

平成19年7月1日

No. 7 ~ 7月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産技術研究所伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は平年偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	22.8	22.3	22.3	23.1	22.8	23.4	22.7
	0.8	1.0	0.7	0.2	0.0	0.7	0.1
中旬	22.1	21.8	22.1	22.3	22.3	22.7	23.5
	-0.9	0.1	0.3	-1.7	-1.7	-1.1	0.0
下旬	22.6	22.5	22.8	24.9	25.0	25.0	25.2
	-1.7	-0.2	-0.1	0.0	0.1	0.2	0.4
月	22.5	22.2	22.4	23.5	23.3	23.8	23.9
	-0.6	0.3	0.3	-0.5	-0.6	0.0	0.2

【黒潮流路】

月前半の黒潮は、九州東岸から潮岬にかけて接岸し、潮岬から石廊崎沖にかけて33°N付近を東に流れた。その後、八丈島の北を通り房総半島沖にかけて北東に流れた。

月後半の黒潮は、九州東岸においてやや離岸傾向を示したが、足摺岬から潮岬にかけては接岸し、潮岬から遠州灘沖にかけて32°30'N付近を東に流れた。その後、北東に向きを変え八丈島の北を通り房総半島沖に流去した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では20~24°C台、駿河湾東部では21~26°C、西部では22~26°C台で経過した。上旬においては、黒潮北上部からの暖水波及が相模湾西部、駿河湾に見られ、伊豆東岸及び焼津の定地水温がやや高めとなった。中、下旬においては、顕著な暖水波及は見られず、中旬の曇見、沼津、下旬の伊東において低めとなったほか、各地ともやや低めから平年並みで経過した。

【竿釣近海カツオ】

7月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は142トンド前年同期の218%であった。魚価は243円/kgで、前年並で推移した。

静岡県船は松生場、海徳場周辺で小、極小、中カツオを中心に漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
19年7月上旬	29	8	3.7	322
	17	6	2.8	377
	95	15	6.4	194
19年7月計	142	29	4.9	243
18年7月計	65	15	4.3	242
17年7月計	364	53	6.9	171

【定置網】

平成19年7月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は215トンド、操業がなかった赤石を除く1漁場当たり水揚量30.7トンドは前年45.7トンド(7漁場)の67%、平年値(昭和57~平成18年)35.7トンドの86%であった。

魚種別漁獲量は、①サバ類86.7トンド(A:前年同月比41%、B:平年同月比91%)②イナダ22.3トンド(A:323%、B:2379%)③マアジ21.8トンド(A:99%、B:71%)④シイラ16.0トンド(A:418%、B:128%)⑤カタクチイワシ12.1トンド(A:27%、B:50%)の順であった。

サバ類はゴマサバ中心で、古網、伊豆山を中心に入網し、尾叉長のモードは37cmにみられたが、14cmをモードとする0歳魚と思われる群もみられた。イナダは川奈、赤沢を中心に入網し、昭和57年以降で最も多く漁獲され、尾叉長のモードは48cmにみられた。マアジは谷津、川奈、赤沢を中心に入網し、尾叉長のモードは14cm、22cmと24cmにみられ、0歳魚、1歳魚、2歳魚が漁獲されていたと考えられた。シイラは北川、川奈を中心に入網し、尾叉長のモードは85cmであった。カタクチイワシは古網、赤沢を中心に入網し、被鱗体長の中心は11.5~12cmであった。

漁場別水揚量は、古網59トンド(サバ類、カタクチイワシ中心)、川奈33トンド(イナダ、マアジ、シイラ中心)、北川31トンド(サバ類、シイラ中心)の順であった。

[サバたもすくい棒受網]

小川港にはたもすくい、棒受網によってマサバ2トン、ゴマサバ407トンが水揚げされた。棒受網の漁場は中ノ瀬（渡り）主体に、たもすくいの漁場は大室出し周辺海域に形成されたが、上旬後半以降、たもすくいによる水揚げはなかった。棒受網の漁獲物は、尾叉長29～31cmのゴマサバ主体に32cm以上のものが混じった。ゴマサバの1kg当たりの平均単価は61円で、前年並み（前年同期：62円/kg）であった。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成19年 上旬	188	4	8	23.5	中ノ瀬（渡り）、大室出し
7月 中旬	114	2	5	22.9	中ノ瀬（渡り）
下旬	106	4	10	10.6	中ノ瀬（渡り）、三宅、三本、銭洲
計	408	10	23	17.8	-----
平成18年7月	663	11	24	27.6	三宅
平成17年7月	881	13	42	21.0	銭洲、三本、三宅

[シラス船曳網]

1日1か統当りの漁獲量は、駿河湾では285kg、遠州灘では245kgで、主要6港平均では261kgと前年同期(501kg)の52%、平年同期(過去5か年平均:430kg)の61%と前年及び平年を下回った。中旬までは100kg台と低調に推移したが、下旬には300kg台と上向いた。総水揚量は442.3トンで前年同期(894.2トン)の49%、平年同期(948.8トン)の47%であった。平均単価は815円/kgと平年同期(665円/kg)を上回った。

シラス水揚量（主要6港）

漁 港	水揚量 (ト)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統・日)	平均単価 (円/kg)
新 居	29.7	12	125	238	753
舞 阪	128.7	13	438	294	805
福 田	66.0	11	269	245	854
御前崎	29.6	15	204	145	895
吉 田	87.7	16	398	220	739
静 岡	100.5	14	263	382	864
平成19年7月計	442.3	81	1,697	261	815
平成18年7月計	894.2	73	1,786	501	448
平成17年7月計	908.4	101	2,525	360	847

[まき網]

小川港ではマイワシが27.3トンと前月に引き続きまとまった水揚げがあった。過去5か年では、2003年(1,400トン)を除き、4トン以下で推移したその他の年を上回った。沼津港ではマイワシが9.7トンとで、平年同期(521.9トン)を大きく下回った。カタクチイワシの水揚げはなかった。

静浦港ではマイワシの水揚げは0.1トン(平年同期86.2トン)、カタクチイワシの水揚げはなかった(平年同期(232.6トン))。

注) 平年同期：過去5か年(2002～2006年)平均

[調査船の動向]

富 士 丸	6月4日	～	7月5日	第2次調査航海(天皇海山方面)	(31日間)
駿 河 丸	7月2日	～	7月4日	地先観測(駿河湾、遠州灘)	(3日間)
	7月9日	～	7月10日	サバ調査(三宅島～金州)	(2日間)
	7月11日	～	7月11日	深層水調査(駿河湾)	(1日間)
	7月18日	～	7月19日	サクラエビ調査(駿河湾)	(2日間)
	7月23日	～	7月24日	サクラエビ調査(駿河湾)	(2日間)
	7月25日	～	7月25日	深層水調査(駿河湾)	(1日間)
	7月26日	～	7月26日	マリンロゴ調査(駿河湾)	(1日間)
	7月31日	～	7月31日	シラス調査(駿河湾)	(1日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/imode/index.htm>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAによる海面の水温分布画像を見ることができます。

